

[気象・海況]

- 水温 直近3か年より1℃前後高めで推移しています(図1)。
- 栄養塩 富津以北の漁場では十分量あります。(表1)
富津岬以南は不安定な状態です。原因は沖合水の影響であり、波及状況により短期間で変動していると思われます。
- 沖合水 1月27日以降、漁場内への強い波及はありません。
しかし、漁場の沖まで暖水が波及しているため、水温の低下や栄養塩の減少に少なからず影響が生じています。

表1 栄養塩の分析結果(2/3, 5)

($\mu\text{g/L}$)	船橋	木更津	富津ベタ	2海堡	大貫沖
窒素	547	440	405	74	74
リン	26	20	22	10	10

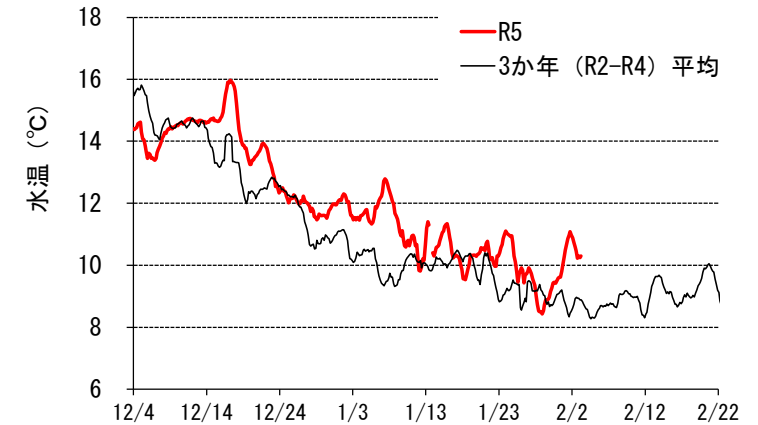


図1 表層水温(木更津観測ブイ)

[今後の留意点]

○クロダイの食害

木更津以北ではほぼ終息しましたが、富津地区では沖合水の接岸に伴い、暖水の影響を受ける場所では継続しています。引き続き、防除ネットの設置を継続してください。

○栄養塩の懸念

現時点、栄養塩は十分であるものの小型珪藻類が目立ち始めています。週明けから気温の上昇が予報されているため、珪藻類の増加による栄養塩の減少が懸念されます。そのため、色のあるうちに量産できるよう漁場全域を使用し生産してください。